

れいわ ねんどだい かいくにたちしじりつしえんきょうぎかいぜんたいかい
令和7年度第2回国立市自立支援協議会全体会

日時：令和8年3月18日（水）午後6時～8時

場所：市役所3階 第1・2会議室

じむきょく みなさま ていこく れいわ ねんどだい かいくにたちしじりつしえんきょうぎかいぜんたいかい
【事務局】 それでは、皆様、定刻となりましたので、令和7年度第2回国立市自立支援協議会全体会

かいさい おも
を開催したいと思います。

みなさま いそが あつま ねが
皆様、お忙しいところお集りいただき、ありがとうございます。よろしくお願いします。

てもと しりょう かくにん しだい さんかしゃめいぼ ちいきかだいかいけつ
まず、お手元の資料の確認でございますが、次第、参加者名簿、地域課題解決のためのワーキング
グループ。これは、ぜんかい ぜんたいかい くば しりょう さんこうしりょう こんかい
前回の全体会のときにお配りしている資料を参考資料として今回もつけています。

おも
これがあつたほうがスムーズかなと思いましたが、つけさせていただきました。

しりょう ぜんかい ぎじろく しりょう とうげこう じっだいちょうさ かつどうほうこく しりょう
それから、資料①前回の議事録、資料②登下校の実態調査ワーキンググループ活動報告、資料③「ヘ
ルパーの魅力発信」～ヘルパーの魅力発信ワーキンググループ活動報告～、資料④差別・理解不足ワ
ルパーの魅力発信」～ヘルパーの魅力発信ワーキンググループ活動報告～、資料④差別・理解不足ワ

かつどうほうこく しりょう じりつしえんきょうぎかい こんご すず かた
ーキンググループ活動報告、資料⑥自立支援協議会の今後の進め方についてということで、ちょっと

しりょう も てもと しりょう ふそくとう
資料が盛りだくさんになっているんですけども、お手元に資料の不足等はありませんでしょうか。

ありがとうございます。

ほんじつ つだこうせいいん こけっせき おおくほこうせいいん さんか かたち
本日、津田構成員が御欠席、大久保構成員がオンラインで参加していただく形となっております。

おおくほ き こえ き
大久保さん、聞こえますか。こちらからの声は聞こえていますか。

こうせいいん
【構成員】 はい。

【事務局】 ^{じむきょく} ありがとうございます。今、^{いま} 大久保さん^{おおくほ}の声も^{こえ}こちらに^{とど}届いております。

【構成員】 ^{こうせいいん} よろしく^{ねが}お願いいたします。

【事務局】 ^{じむきょく} そうしましたら、^{さっそく}早速ですけれども、^{しだい}次第に沿って^そ会を進め^{かい}させていただきたいと思^{おも}います。

^{まえ}その前に、^{てん}1点だけ^{ほそく}補足がありまして、^{こうせいいん}構成員の^{みな}皆さんの^{つくえ}机の上に^{うえ}封筒を^{ふうとう}置かせて^おいただいている
と思^{おも}います。これは^{なに}何かという、^{こうせいいん}構成員としての^{しょうだくしょ}承諾書になりまして、^{れいわ}令和6年^{ねん}3月^{がつ}の^{ぜんたいかい}全体会のと
きに、^{みなさま}皆様に^{しょうだくしょ}承諾書を^{ねんかん}いただいております、そのときに、^{しょうだくしょ}2年間というところ^{きかん}で^く承諾書の^ぎ期間を区切
らせて^{おも}いただいていたかと思うんです。今、^{いま} 令和8年^{れいわ}の^{ねん}3月^{がつ}ですから、^{こんげつまつ}今月末までが^{いったん}一旦の^{にんき}任期とい
う^{かたち}形になるんです。なので、^{ねん}2年たち^{いこう}ましたけれども、^ひこれ以降も^{つづ}引き続き^{こうせいいん}構成員として^{ぞくどう}続投^{ぞくどう}いた
ける方^{かた}に関しましては、^{かん}お配り^{くば}した^{ふうとう}封筒に^{へんしんようふうとう}返信用封筒も^い入れてありますので、^{ごじつ}後日、^{しょうだくしょ}承諾書^{おく}を送り返
して^{おも}いただきたいと思います。もし^{ぞくどう}続投^{ばあい}なされない場合^{かん}に関しましては、^{てすう}お手数^{てすう}ですけれど
も、^{しえんか}しょうがいしゃ^{いしかわ}支援課の^{ひらまつあ}石川か^{こべつ}平松宛^{でんわ}てに^{これんらく}個別^{これんらく}にお電話^{これんらく}で御連絡^{これんらく}いただけますでしょうか。そう
い^{かたち}った^{おも}形で^{ねが}やらせて^{ねが}いただきたいと思います。お願いいたします。

^{われわれじむきょく}我々事務局^{あと}サイドとしましては、^{こま}この後^{せつめい}また^{はい}細かい^{せい}説明^{ほうこく}に入^{ほうこく}るんですけれども、^{ほうこく}成果^{ほうこく}の^{ほうこく}報告^{ほうこく}をさせ
て^くいただきますけれども、^き区切^きり^き的^きには^きもう^きちょっと^き先^きの^きところ^きで^き区切^きらせて^きいただ^ききたい^きなと思^{おも}っ
て^きいるので、^きできれば^きこの^きまま^き続^き投^きい^きた^きだ^ききたい^きな^きという^き気持^きちは^きあり^きます^きという^きこと^きだけ^きお^き伝^きえ^きさ
せ^きて^きいただ^ききたい^きと思^{おも}いますので、^きよろしく^きお願い^きいた^きし^きます。

^{きじろく}あと、^{みなさま}議事録^{おく}なんですけれども、^{しゅうせい}皆様に^{かひつとう}送^{ごしてき}らせて^{ごしてき}いただ^{ごしてき}いて、^{ごしてき}修正^{ごしてき}、^{ごしてき}加筆^{ごしてき}等の^{ごしてき}御指^{ごしてき}摘^{ごしてき}を^{ごしてき}いた^{ごしてき}だ^{ごしてき}き^{ごしてき}ま

してありがとうございました。27ページの上から2行目、「今、児発とか放デイでも」のところの「児発

（じはつ）」が「児発（こはつ）」になっていたという御指摘をいただきまして、今、直したものを

配りしております。見ていただいてありがとうございました。近日中にホームページに議事録をアッ

プ予定でございますので、よろしくお願いいたします。

では、次第に沿って説明させていただきたいと思います。

まず、前回、10月の第1回の全大会のときに、ワーキンググループを3つ立てて、ワーキンググル

ープを作業として活動を進めていこうという話になったかと思います。今日、参考資料として

お配りしております地域課題解決のためのワーキンググループ、第1回全体会資料（参考）を見てい

ただきたいんです。今、振り返りの時間です。

このワーキンググループの1、2、3と3つ名づけていて、この3つを進めていこうという

ところで話がまとまっています。今日は、前半にこの3つのワーキンググループに所属している事務局

から活動報告あるところでございます。後半に関しては、今後、自立支援協議会をどういうふうに進

めていこうかということで、資料⑤の説明をさせていただければ思っております。

皆さん、半年前なので記憶がちょっとあれかもしれないですけども、思い出していただきました

でしょうか。

そうしたら、早速ですけども、議長の笠井さんにお話を振らせていただいてよろしいですか。お

願いします。

【議長】 1つ確認なんですけれども、資料のほうで、記録以外のものに関しては特に修正とかはな

く、郵送で配られたものと同じでよろしいでしょうか。

【事務局】 そのとおりでございます。

【議長】 それでは始めたいと思います。たまぶらねっとの笠井です。今日もよろしく願いいたします。

皆さん、今年、花粉がすごくきつくないですか。私も本当に3年ぶりに病院に行っただすけれども、ちょっときつくて、頭痛とかもしちゃうみたいな感じで、そういう声も多く聞かれますので、

皆さんも大変なことと思いますけれども、よろしく願いいたします。

では、部会の活動報告をお願いいたします。地域課題協議部会について、三浦さんからお願いいたします。

【構成員】 地域課題協議会の後半の活動の報告をさせていただきます。相談支援事業所ハッピーテラス国立駅前の三浦と申します。よろしく願いいたします。

12月5日の第8回の会合では、10月に行われた全体会の振り返りと、共有事項の確認を行い、ワーキンググループごとの活動を開始いたしました。2月20日の第9回会合では、それぞれ3つのワーキンググループの1月までの活動内容の共有と全体会の報告の仕方、部会メンバーの任期についてなどを話し合いました。

地域課題協議部会としては、今月31日までの2年間で任期となっていますが、ワーキンググループの活動が形になる頃までは引き続き取り組ませてほしいということで、もう1年間、現行のメンバーで活動するという意向で意見があり、一致いたしました。また、現在は相談支援連絡会としての活動

おこな
を行っていないことや、くにたちしじりつしえんぎょうぎかい ぶかいさいへんせい む
国立市自立支援協議会の部会再編成に向けてスタートした地域課題協議部会

あ かた そうせつ ぶかい こうほ うんえいとう じりつしえんぎょうぎかい かん ちけん ほうふ も
の在り方や、創設する部会の候補や運営等について、自立支援協議会に関する知見を豊富にお持ちの

かたがた いっしょ かんが いけん で らいねんど
方々に一緒に考えていただきたいというような意見も出ていました。来年度はそれぞれのワーキン

かつどう くくにたちしじりつしえんぎょうぎかい ぶかいさいへんせい む じゅんびとう かつどう あわ おこな
ググループ活動と、国立市自立支援協議会の部会再編成に向けた準備等の活動を併せて行っていく

よてい
予定です。

かつどうほうこく おも
それでは、それぞれのワーキンググループの活動報告をそれぞれさせていただきたいと思います。

ねが
よろしくお願いいたします。

ぎちょう どうげこう じったいちようさ かつどうほうこく ねが
【議長】 それではまず、ワーキンググループ1、登下校の実態調査から活動報告をお願いします。

じむきょく はつびょう たきのがわがくえんそうだんしえん いちかわ もう
【事務局】 発表させていただきます。滝乃川学園相談支援センターみなも、市川と申します。

どうげこう じったいちようさ じむきょく どうげこうちようさ さい こさま とくべつしえんがっこう
ワーキンググループ1、登下校の実態調査の事務局です。登下校調査に際し、お子様が特別支援学校、

とくべつしえんがっきゅう つうがく ほごしゃ かた たいしょう ぐーぐる つか
特別支援学級に通学している保護者の方を対象に、アンケート（Googleフォームを使ったアンケー

き と と ないよう じぜんしりょう
ト、聞き取りによるアンケート）を取らせていただくこととしました。内容につきましては、事前資料

こかくにん
を御確認ください。

ほん がつじょうじゅん おこな こうちようかい ほうこく うえ じっしよてい
本アンケートについて、4月上旬に行われる校長会に報告の上、実施予定となっています。

しゅうち がっこう つか かつよう くくにたちし
アンケートの周知については、学校で使われているすぐーるというアプリを活用します。国立市の

がっこう かよ かた かみばいたい がっこう つう ほごしゃさま わた
学校に通っておられない方については、紙媒体で学校を通じて保護者様へお渡しします。すぐーるを

つう し ぶんめん じぜんしりょう こかくにん
通じてお知らせする文面については、事前資料を御確認ください。

しゅうけいきかん がつちゅうじゅん しゅうかん よてい がつ
アンケート集計期間は4月中旬から2週間で予定しています。5月にワーキンググループを

かいざい しゅうけいけっか きょうゆう けっか み こんご き と ほうほう ひんど
開催、アンケート集計結果を共有、結果を見て、今後の聞き取りアンケートの方法や頻度について

はな あ き と がつ じっし じりつしえんきょうぎかい ちいきかだい
話し合います。聞き取りは6、7月に実施します。それをまとめたものを自立支援協議会、地域課題

きょうぎふかい ほうこく ぜんたいかい ほうこく
協議部会へ報告し、全体会へ報告することといたします。

ぎちょう ひとつもん う なに ごしつもん かた
【議長】 1つ1つ質問を受けてよろしいですか。何か御質問ある方いらっしゃいますか。

わたし き と だんかい おこな
では、私からいいでしょうかはい。アンケートと聞き取りの2段階で行うということでよろしい
ですか。聞き取りのほうはどなたを対象にされていますか。

じむきょく ほごしゃ かた
【事務局】 保護者の方です。

ぎちょう と かた
【議長】 それは、アンケートを取らなかった方？

じむきょく こた かた
【事務局】 アンケートをお答えいただいた方。

ぎちょう なか とく き と かた
【議長】 その中から特に聞き取りたい方に。

じむきょく へん かい けっか み いちどこま き おち
【事務局】 その辺は、1回アンケート結果を見てからもう一度細かく決めることにはなるかと思う
んですけども、まず広く、例えば放デイの保護者の方とかにお声がけさせていただいて座談会みた
いな形で聞き取りができればいいなとも考えています。

ぎちょう わ
【議長】 分かりました。

みな
ほかの皆さんいかがでしょうか。

こうせいいん にんすう よそく だんかい
【構成員】 どれぐらいの人数を、アンケートは予測されているのかなということと、その2段階は
座談会方式とおっしゃっていたんですけども、それはどれぐらいの人数が予測しているのかなとい
うところをまず聞きたいです。

その座談会もアンケートの結果だとは思いますが、大体こんなことを聞きたいなというこ

とがもし今の段階であれば教えてください。

【事務局】 アンケートの人数なんですが、対象の方が国立市在住の特別支援学校と特別支援学級

に通う児童生徒さんの保護者さんなので、すみません、人数のほうを私が今把握できていないんです

けれども、その方たちに行わせていただく予定です。

座談会についてはアンケート結果を見てからにはなるのですが、少人数で話しやすい雰囲気の中

で行えたらなというように考えております。

【構成員】 大体どんなことを聞きたいというのは、今想定はあるんですか。

【事務局】 登下校についての実態とか、お困り事でちょっと深く、アンケートの中ではちょっと

見えなかったようなこととかを伺えたらなと思っております。

【構成員】 ちょうど年度が変わってしまうところが何かちょっと、新しく進級された方と

かはまだ分からないところもあるのかなという不安はありますけれども、やっとここまで、アンケー

トを取って実態調査をするということで、進捗としては頑張ってこられたんだなというのはよく分

かりました。

【議長】 また、ちょっと私のほうからいいでしょうか。アンケートのフォームの一番最初の説明の

ところで、「一人で移動することに困難を抱えている小中高生の登下校の実態調査」という表現が

あると思うんですが、1人で移動することに困難を抱えていると思っていない方は、これに答えない

ことになるのかしら、どうなんでしょう。

【事務局】 アンケートは任意になりますので、この文章を読んでいただいて、できれば御回答いただ
きたいとおもっております。

【議長】 1人で移動することに困難を抱えていると思っていなかったら、このアンケートは答えな
いということになってしまうとしたら、このアンケートを読めているのか、該当しないと思って答え
なかったのかがちょっと分かりづらいかと思います。皆さん、いかがですか。

あと、もう1つなんですけれども、最後の質問で、「登下校や放デイ・学童の送迎に関して、今あっ
たらいいと思うサービスや仕組み等があれば教えてください」というのと、次の質問が、「将来的
にあったらいいと思うサービスや仕組み等があれば」というところなんです、私がその該当する
方たちに関わっていないのもあるとは思いますが、今と将来とどういう違いがあるのかなみたい
な、どういうことを想定されているのか、その対象の方たちはすぐ分かるようなことなのか、どうな
のかなとちょっと思いました。

【事務局】 この 구글フォームは、エプシロンが下案をつくりました。この活動報告の中に、第
1回、第2回のところでプレテスト報告というのがあるんですけども、これはうちの関係者の
いまげんざい、こ、しえんきゅう、しえんこう、かよ、おやこ、なんにん、かんそう
今現在、お子さんを支援級、支援校に通わせている親御さん何人かにちょっとやってもらって感想を
き、聞いたりしながらつくったんですね。その中で、このように項目を分けたほうがいいんじゃないかと
いうのが出てきてつくったんですけども、ボタンタッチして説明してもらいます。

【事務局】 支援学校に通われている保護者2名と、支援級に通われている保護者2名、会議の関係者
ねが、かい、こた、とく、しえんきゅう
にお願いして、2回ずつアンケートに答えていただきました。それで、特に支援級のほうなんですけれ

ども、1人で通う力はあるけれども、親御さんがというか、大人の人と一緒に登校しなくてはいけ
ないというのが決まりであったりとか、それで、これを答えるとき御本人の希望なのか、それとも保護者
の希望なのかというところですので、こた 答えるのに迷ったというお答えをいただきまして、いま ば
いのは、今後1人で通えるようになるかもしれないという希望的なところは将来にしてい
て、今実際に困っているというところは今現在というふうに答えていただけるかなと思ひまして分
け
ました。

あと、将来的にというのは、いま たいせい ととの
ということも含めて答えていただければなと思ひました。

【議長】 ぎちょう しょうらいてき いち にねんご かん
将来的にというのは、一、二年後ぐらいのイメージという感じなんですかね。

【事務局】 じむきょく たと いま しょうがくぶ ちゅうがくぶ しえんがっこう こ
例えばなんですけれども、今、小学部や中学部の支援学校のお子さんだとスクールバス
で通えているんですけれども、こうとうぶ の いま
に乗れるので困ってはいないけれども。恐らく高等部に入ったら困るだろうなと。やっぱりそういう
こともあると思うので、しえんがっこう こ
具体的に書いていただきたいなと思ひました。

【議長】 ぎちょう わ
分かりました。ありがとうございます。

さんこうしりょう だい かいぜんたいかいしりょう さんこう くば ひょう いく か
参考資料、第1回全大会資料（参考）として配られた表に、ワーキングメンバーが幾つか書かれて
いますけれども、どんなメンバーで、どんな雰囲気に進めたのかなというのをちょっと教えていただ
ければと思ひます。

【事務局】 まず、この期間はアンケートをつくることに重点を置きました。ですので、エブシロンさんを中心にアンケート作成をしていただいたり、かがみ文を山本さんにつくっていただいたり、そういう形で実施しています。その後、座談会等を行うに当たって広げていく形を考えておりますので、まずこの期間はアンケートづくりに集中しております。

教育委員会の小島さんにも御参加いただいて、御助言をいただいております。

【議長】 御協力ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。もしないようでしたら、次のワーキンググループに移ります。

ヘルパーの魅力発信について、なびいさんのほうからお願いします。

【事務局】 私からは、ヘルパーの魅力発信ワーキンググループの活動報告をしたいと思います。ヘルパーの魅力発信ワーキンググループは、自立支援協議会事務局のなびいと、サプラさん、あと、社協ヘルパーステーションの在原さんに入っていていただいて活動を進めていきました。

活動状況としましては、12月、1月、2月と資料のとおりに進んでいっています。主な活動内容、

主な共有事項になるんですけども、まず、このワーキンググループの目的について確認をしています。

今までやってきた地域課題の中でヘルパー不足というのがあったんですけども、その中でも福祉

業界の求人になかなか応募が来ないというところから、啓発が必要ではないかというところで、今回

は補足資料にもありますけれども、しょうがいのある方を支援するヘルパーの仕事の内容や魅力を伝

えることで、ヘルパーになりたいと思えるような啓発をすること、こちらの目的を共有しています。

実際にヘルパーさんの今の状況がどういったものなのか、問題点などというところで、在原さん

はなし うかが きかい もう なか わたし ふく いっぱんてき おも
にお話を伺う機会を設けました。その中で、私も含めてですけれども、一般的に思われているヘルパーさんの仕事の印象とちょっと違うんだな、そういうことが一般的に知られていないんだなということが分かってきました。

たと じきゅう すうねん あ
例えば、ヘルパーさんの時給というのがここ数年でだんだん上がってきていることであったり、あと、子育て世代の主婦の方とかを対象にすると、時間に融通が利く面もあってたりして働きやすいというメリットもあってたりするんじゃないかというところであったり、あと、ヘルパーさんが1人で御自宅の訪問をすると孤立しやすいんだけど、事業所の中で孤立をさせない取組というのをやっているということであったり、そういった働きやすさみたいなことも少し周知というか、啓発できればいいのではないかと話をしています。

こんご すす かた みりよくはっしん しゅだん つ いま
そして、今後の進め方であったり、魅力発信の手段というところを詰めてきています。今のところですけれども、紙媒体で紹介できるといいのではないかと話を進めております。市報であったり、しゃきやうこうほうし き じ けいさい けんとう いまちやうせい ねが さいちゆう
社協広報誌への記事の掲載の検討というところで、今調整といいますか、お願いをしている最中になります。

こんご けんとうじこう ないよう すす すこ はなし
今後の検討事項なんですけれども、こういった内容で進めていくのかをもう少し話をしたいかなといけなと思うています。今、活動を紹介する記事をつくるヘルパーを利用している方へのインタビューをシリーズ化するのはどうだろうかという話が出ております。あと、広く一般の市民の方にも記事が触れられるように、QRコードをつくったりして、いろんなところにそれがあることで、みな め き じゅうどう はなし
皆さんの目にとまるような記事誘導ができるといいのではないかと話をしているところです。

かんたん いじょう
簡単ではありますが、以上になります。

ぎちよう なに みな ごしつもんとう
【議長】 それでは、何か皆さんから御質問等がありますでしょうか。

こうせいいん た はじ かつどう おも
【構成員】 ヘルパーさんが足りないというところから始まった活動だと思っんですけども、ちょ
つ わたし ねが りよう たちば りかい
っと私もヘルパーさんをお願いしていた、利用させていただいていた立場としてはちょっと理解が
あまり、ヘルパーさんの待遇とか、雇用形態というのは理解できていなかったんですけども、そも
そもヘルパーさんはフルタイムでその事業所で働いている方と、また、先ほどおっしゃられていたパ
ートタイムみたいな形 で時給幾らでこの時間とか、そういう契約の方と、どんな感じで分布という
か、どれぐらいのボリュームの方がいらっしゃるのかというのと、今回、焦点としては、フルタイム
というよりも、少しでも関わっていただける方を増やそうというところに焦点があるのかというの
を教えていただきたいと思います。

ぎちよう かいとう じぎょう かか ほうじん
【議長】 この回答はヘルパー事業に関わっている法人さんのところはいかがでしょうか。どなたか。

じむきょく はな うかが
【事務局】 ヘルパーステーションさんのお話しか伺えなくてというのがあって。

じむきょく せつめい はけんじぎょうしょ
【事務局】 かいゆうについて説明します。かいゆうは、くじらハウスというヘルパー派遣事業所が
あります。うちの場合は、かいゆうに勤務していて、くじらハウスに配属されている正規職員の人た
ちは朝から夕方までそこで仕事をしていて、事務仕事とか請求とかもやっていて、ヘルパーとしても
稼働している。それ以外に登録ヘルパーという存在があって、その人たちは、たくさんやっている人
から、本当に月に1つ、2つという少ない人まで様々なんですけれども、必要な部分の送迎とか、あ
る部分の身体介護とかを、コーディネーターみたいな役割をする正職の人が組んで、来月はここに入

ってくださいというやり取り^{と わ ふう}をして割り振^{わ ぶん}っていく。かいゆうのくじらハウスは比較的登録ヘルパー^{ひかくてきとうろく}

が少なく事業所^{じぎょうしょ}なんですけれども、事業所さんによっては登録ヘルパー^{とうろく}をものすごく抱^{かか}えているところもあったりとかして、それはまちまちです。

あと、もしかしたら滝乃川^{たきのがわ}さんの話^{はなし}も聞^きくといいかもしれませんけれども、例えばうちはほかにグループホーム^ことか子どもたちの放^{ほう}デイとか生活介護^{せいかつかいご}とかいろんな部署^{ぶしょ}があり、エプシロン相談^{そうだん}とかも

ありますが、全体的に今日まさにテーマの人手不足^{ひとでぶそく}というのもあるので、勤務^{きんむ}の中で多少シフトの全体^{ぜんたい}

調整^{ちようせい}をして、どうしてもここの余暇活動^{よ か かつどう}の同行^{どうこう}をするというようなところは、例えばグループホーム^た

勤務^{きんむ}の職員^{しよくいん}でも、そこはこちらのヘルパーとして勤^{うご}くとかというのを組^くんだりします。そういうのが

実態^{じったい}なので、正職^{せいしよく}は給料^{きゅうりょう}だし、登録ヘルパーは時給^{とうろく}です。そういう感じです。

【議長^{ぎちよう}】 では、滝乃川^{たきのがわ}さんも、ぜひ。

【事務局^{じむきよく}】 おおむね同^{おな}じです。

【事務局^{じむきよく}】 事業所^{じぎょうしょ}の体系^{たいけい}というのは大体同^{だいたいおな}じような感じ^{かん}です。常勤職員^{じょうきんしよくいん}として組^くんでいまして、

おおむねヘルパーとして派遣^{はけん}に行^いっていただきながら、非常勤^{ひじょうきん}が、うちはケアスタッフと呼^よんでいま

すが、非常勤^{ひじょうきん}になります。正規職員^{せいきしよくいん}のほうは月給制^{げつきゅうせい}でやっておりますけれども、非常勤^{ひじょうきん}は時給^{じきゅう}でや

っています。非常勤^{ひじょうきん}の人員^{じんいん}も少ない^{すく}ですし、常勤^{じょうきん}であっても、募集^{ぼしゅう}をしてもなかなか来^こない状^{じょうきよう}況^{けい}で、

ヘルパーとして派遣^{はけん}に関わ^{かか}ってくださる方が増^{かた}えるとい^ふいなというところ^{ところ}はあります。

【議長^{ぎちよう}】 大久保^{おおくほ}さん、いかがでしたか。聞^ききたいことは聞^きけましたか。

【構成員^{こうせいいん}】 ヘルパーさんに来てほしい時間^きみたいなのがかたまる時間^{じかん}、小学生^{しょうがくせい}だったら放課後^{ほうかご}、3

じ ゆうがた へん けっこう かって おも
時から夕方までとか、その辺が結構ニーズがあるのかなとか勝手に思っていたんですけど、その

へん たい たと じぎゅう かた しゅう かた
辺に対して例えばパートさんみたいな時給の方でカバーできるのであれば、それこそ主婦の方とか、

いま こ したく あす みまも たが とうろく しやくしょ じぎゅう こ
今、子どもを自宅とかで預かって見守るみたいな、お互い登録して、市役所でやっている事業、子ど

しえん とうろく じぎょうしゃ とうろく かん
も支援センターで登録して、事業者と登録してやるようながあるので、そんな感じで、そこもター

ゲットにするんだったら、そこを市報とかで定期的に、4月前とかに募集していますみたいなのを載

せているので、こういった人材なのか。

しごと も かた たいよう すばる かい はったつ こ
いろんな仕事があって、しょうがいを持っている方、太陽と 昴の会でも、発達しょうがいの子ども

たちがたくさんいるんですけども、やっぱりすごくパラエティーに富んでいるので、すみません、

うまくまとめられないんですけども、ヘルパーさんの魅力って、割と時間の融通がきいていいです

はっしん けっこう こ こ おとな かた
よという発信もできるんですけども、結構お子さん、お子さんだけではなく、もっと大人の方のへ

ひつよう しごと ないよう た ぎ と おも おも ちが いま
ルパーさんも必要だったりして、仕事の内容も多岐に富むと思うので、そこが思ったのと違う、今ま

かんが ちが いんしょう も
で考えていたのと違うんだなという印象を持ってもらったというのもいいことなんですけれども、

と こ じっさい ずいぶん き ちが じぶん おも
じゃ、飛び込んでみました、実際やってみたら、随分聞いていたのとまた違って、すごく自分が思っ

たいへん え おも みりよく はっしん
ていたより大変でしたということもあり得るのかなと思ったので、そのあたりを、魅力を発信しつつ、

たと か はっしん
やっぱりインタビューを例えばシリーズ化していくとか、そういう発信をするにしても、そのバリエ

たどう こ つ そ しごと じゅうど かた かいもの いっしょ
ーション、多動なお子さんの付き添いのお仕事とか、もうちょっと重度の方のお買物とか、夕方を一緒

す おも なんいど ていどうらてき
に過ごすとかいろいろあるかと思うんですけども、そのあたりを難易度をつけて、ある程度網羅的

むすか おも
にというと 難しいのかもしれないんですけども、こんなレベルのものもあるし、ちょっと重たいなもの

あるし、いろいろやりがいそれぞれありますよということで発信^{はっしん}していただければいいのかなと思^{おも}っています。

まとまりがなくてすみません。よろしくお願^{ねが}いします。

【議長^{ぎちよう}】 及川^{おいかわ}さん、ヘルパー^{りよう}さんを利用^{おそ}されていますか。恐らく利用者^{りようしや}の方で相性^{かた あいしろう}とかがあったり
ますよね。何か御意見^{なに こいけん}があつたらお願^{ねが}いします。

【構成員^{こうせいいん}】 ヘルパー^{ひとくち}さんと一口^いに言っても、その人が使っている資源^{ひと つか}からして求められるスキルで
あるとか、年代^{ねんだい}であるとか、いろんな様々^{さまさま}なシチュエーション^{ちが}が違ったりして、ヘルパー^{みりよく}の魅力
発信^{はっしん}というだけだと到底語れないというか、当然^{とうぜん}ミスマッチ^おが起きてくるだろうと思うようなところ
もあつたりするので、ここは大風呂敷^{おおぶろしき}ではないんですけれども、ヘルパー^{みりよく}の魅力^{みりよく}ってこんなにいっぱい
あるんですよというか、お仕事^{しごと}ってこんなことがあつて、ここでは駄目^{だめ}かもしれないけれども、こ
っちならできるかもしれないとか、こんなことでお手伝い^{てつだ}して自分のやりがい^{じぶん}につながるかもしれな
いみたいな、フローチャートみたいなものがあつたりして、ミスマッチ^{すく}を少なくしていったり、また、
ミスマッチ^おが起きたとしても、そういった 志^{こころざし} ^もを持ってくださった方が生きていけるような、福祉^{ふくし}の
何か^{なに}お手伝い^{てつだ}したいと思つていただけるような取組^{とりくみ}方ができたらすごくいいかなと思つたりしていま
す。

【議長^{ぎちよう}】 まさにそのとおりだと思います。本当に大事な課題^{おも}の1つなんですけれども。

【構成員^{こうせいいん}】 魅力^{みりよく}発信^{はっしん}の手段^{しゅだん}として、映像^{えいそう}とか、簡単^{かんたん}に言えばユーチューブ^いだとか、今はもっと 短い^{いま みじか}
動画^{どうが}、ティックトック^{びよう}だとかインスタグラム^{どうが}なんかは15秒^{じっさい} ぐらいの動画、そういうので実際のヘル

パーの場面とかを目で見て訴えられる、分かるような工夫とかも考 えるといいんじゃないかなと思

いました。今おっしゃられたように、本当に切り取りでもいいので、たくさんいろんなのがあって、

これならいけるかもしれないとか、ハッシュタグで検索で引っかけやすいようにしておいて、いろ

んな方が見ていただけるような工夫をするといいのかなと思いました。

【議長】 長野さん、今回、紙媒体にちょっと絞っているところがあると思うんですが、その辺はど

ういう御意見があったんでしょうか。

【事務局】 一旦映像をちょっとつくってみて流すということであったり、少しイベントみたいなこ

ともやってみてもいいんじゃないかみたいな話 も上がったんですけども、単発の打ち上げ花火と

いうよりも、作ったものが広く皆さんの手に渡るようにするには紙媒体というか、あと Q R コード

だとか、そういったもののほうが無理なく進められるのかなというところで今は意見がまとまってい

るような状 況 です。

ただ、確かにユーチューブだとかショート動画だとか、もっとそういったものも簡単に市民の皆さ

んの触れる媒体なのかなと思うと、またちょっとそれは持ち帰って検討できたらなとは思っています。

【議長】 市報とか、まごころとかですよね。

【事務局】 今、候補に挙がっています。

【議長】 実際の購読、本当にどれぐらいの方が読んでいるのか、今の現代において紙を。ちょっと

層とかも 偏 るのかなと。私 が日頃感じているのは、高齢の方は結構よく読んでいらっしゃって、何

かもらえるとか、給付金とかの情報 はすごくお詳しくたりするんですけども、もうちょっと若い

世代の方が読んでいるのかなというのが気になるころではあるんですが、そういう情報は市のほうでありますか。

【事務局】 特には。ただ、市報とまごころを比べたときに、市報のほうが知名度といいますか、やっぱりそっちのほうがあるのかなと。私は社協にもいた時期もあるので、まごころのこともよく分かっていますけれども、市報のほうかやっぱりとつきやすいという言い方をするとちょっとあれなんですけれども、イメージ的にはそっちのほうなのかなという印象はあると思うんです。

今回、長野さんから話が合った紙媒体のところも、もともと社協のヘルパーステーションの在さんが参加してくれていて、社協のほうで定期的にヘルパー座談会みたいなことやっているんですね。それについて、まごころで記事を出して、過去にインタビュー形式で載せたこともあるみたいです。ヘルパーさんとの対談みたいなものを。そういったところの話もあったので、そういったところから、今回の魅力発信というところを媒体として載せられないかというところに自然と考えが至ったというところで、今それを現実化できるかどうかを調整しているところです。

ただ、いずれまごころだけではなくて、市報とか、市のホームページとかも媒体として活用してやっていければいいかと思いますし、委員の方々からお話いただいた手段として電子媒体というものもありました。我々しょうがいしゃ支援課でも、実績として手話言語条例をつくったときに、手話言語のPRのために、しょうがいしゃ支援課の前にパネルみたいなものを置いて流していたんですね。そこで手話についてのPRを流していたんです。そういったこともできるので、そういったところも考えた上でやっていきたいなとは思っています。

【議長】 まだ御発言のない方はぜひ。藤田さん、いかがですか。

【構成員】 ニーズも多様極まりないので、ヘルパーさんの仕事のありようを満遍なく広報するとい
うことは、それはちょっとなかなか難しいかなと思うんですが、やはり今、若い人たちは、紙媒体よ
りは映像かなとは思いますが、私の関係する仕事でも、もうみんなスマホだよねというあれなので、
情報の発信をスマホで見れるというようなやっぱり視覚的な手段というものは取っていくべきかな
と、今の状況を見るとそういうふうに思いますね。

【議長】 大事なテーマなので、石原さん、いかがですか。

【構成員】 紙媒体というのは、一番最初に入るときにはいいかもしれないんですけども、やっぱ
り市報とかをお読みになっている方々は、そんなに若い方たちは読んでいないと思います。若い人が
よんだとして、ああ、そっかで終わっちゃうんだったら同じなので、それよりは、バイト情報のすご
く有名なやつ、それも紙媒体だとか、ネットで見ているんでしょうけれども、せっかくだったら本当
に紙媒体で始めて、QRコードを載せて、すぐに入りやすいところを持ってきて。

いいなと思ったのは、本当にヘルパーを利用している方のインタビューというのが、やっぱり顔を
出していい方とか、ちょっと隠してでも、きちっと自分がこういうことをやってもらってよかったと
か、2時間でもすごく楽しかったとか、こういうことをわがままだけと言ってみたらできたといっ
喜んでいるところをやっぱりたくさん載せると、やってみてもいいかな、2時間でもこんなに人に楽
しんでもらえるかなと思えるのかなと、そういうのはやっぱり動画がいいかなと思いました。

【議長】 技術的なこともいろいろあるんですけども、一応御意見として伺いました。

【構成員】 わたし ほけんじょ なんびょう かた せいしん かた しえん なか
私たち保健所でも、難病の方とか、精神しょうがいしゃの方の支援をしている中で、

ヘルパーさんは本当に欠かせないんですけれども、今おっしゃっていたとおりすごく仕事が多岐にわ

たるんですね。ヘルパーさんと直接お話しすることはないんですけれども、やっぱりしょうがいの

理解から始まって、ヘルパーの技術的な教育体制みたいなのところもすごく大事なかなと思っているの

で、ヘルパーさんの仕事そのものの魅力と、どう育てていくとか、どういう情報発信をしているか

とかというところもあるといいかなと思いました。

わたし ほけんし きょういくたいせい う すこ おうほ ふ
私たち保健師も、教育体制を売りにしたら少し応募が増えたりということがあったので、ぜひそ

のあたりも御配慮いただければと思います。

【構成員】 こうせいいん みりょくはっしん きのう とうきょうと あいしーてぃーかつよう
ヘルパーの魅力発信というところで、昨日たまたま東京都がやっているICT活用の

けんしゅう で さき おいかわこうせいいん みりょく
研修にちょっと出てきたんですけれども、先ほど及川構成員がおっしゃったように、ヘルパーの魅力

も大事なんです、やっぱりマッチング、ヘルパーさんのマッチングってすごく大事なんだろうな思

ってお話を聞いていました。

なので、何が言いたいかという、結局、魅力もそうなんだけれども、魅力だけを伝えていくこと

も大事なんだけれども、その後というか、仕組みとしてマッチングを考えなきゃいけないし、これは

僕のちょっと想像なんですけれども、ヘルパーをやりたいってやっただいじという人がどれぐらい離職してい

るのかとか、離職した人が戻れるのかとか、やっぱり少子高齢化の中で考えなきゃいけないことは、

じんこう かぎ ひと かぎ ひと
人口には限りがあるし、ヘルパーをやれる人には限りがあるので、そういう人たちがいかに、もちろ

ん新しく来てくれることも大事なんだけれども、離職しないための工夫みたいなのも一方で考えて

いかないと、さっきの登下校の実態調査もそうなんですが、ヘルパー不足をどう解消していくかとい

うことはやっぱり広い視点で考えなきゃいけないんじゃないかなと、お聞きしました。

【議長】 小島さん、いかがですか。学校のほうでは、私のほうの法人でも、登下校の支援とか、ヘ

ルパーステーションでやっている児童さんもいらっしゃるんですけども。

【構成員】 教員もそうなんですけれども、成り手不足というところは学校なんかは今顕著なところ

があって、若干採用は戻ってきているところはあるんですけども、やっぱり皆さんが持っている

先入観というのが非常に強いところが、昔は学校の先生になりたいなとか、子どもと関われたらと

いうところですけども、いざ実態が、保護者対応が大変だとか、いろいろマイナスイメージのほう

がどうも先行してしまうところがあるので、ここの部分で、本当にヘルパーの魅力を感じてやられて

いる方がどこに魅力を感じているのかというのは非常に多くあるのかなと思います。これはもう学校

の教員も多分そうだと思います。そういった方が思っている、イメージを払拭できるようなも

のを前面に出していく。

要するに皆さんが持っている先入観をどうやって打ち破っていくかというところなのかなと思っ

ていて、そこは教員の魅力も全く同じところはあるんですけども、ただ、やっぱりここがあるか

らいいんだよねというのを、どういう形で発信するのかというのは難しいんですけども、ただ単

に、今までどおりだと難しいのは非常にあるのかなと思うので、何か面白さというか、そういったと

ころがうまく伝えられるというのは非常に大事なかなと思いました。

【議長】 それでは、ほかにはよろしいでしょうか。もう少しで1時間になりますので、ここで休憩

と おも し ふん さいかい おも
を取りたいと思います。7時5分から再開したいと思います。

【事務局】 じむきょく てん じむきょく しりょう さ か ねが しりょう とうげこう じったいちようさ
1点だけ、事務局から資料の差し替えをお願いします。資料②、登下校の実態調査ワ
ーキンググループ活動報告の中に個人情報が含まれてしまっているものがありますので、きょう ないよう
今日の内容

しんぎ まった えいきよう さ か かたち ごきょうりよく ねが
の審議とかには全く影響はございませんので、差し替えという形で御協力お願いいたします。

きゅうけい
(休憩)

ぎちよう じかん さいかい
【議長】 時間になりましたので再開いたします。

め さべつ りかいふそく しのはら ねが
では、3つ目のワーキンググループ、差別・理解不足、篠原さんからお願いします。

【事務局】 じむきょく さべつ りかいふそく かつどうほうこく げつ
差別・理解不足ワーキンググループの活動報告をいたします。このグループは、2か月

づつというところで、こんかい にちじょうてき りよう りよう ひごろ こんなん
今回は日常的にも利用があるバスの利用について、日頃の困難さとかのアンケ

と じれい あつ かいしゃ いけんこうかん
ートを取って事例を集めて、そしてバス会社と意見交換につなげようというところでやっています。

かいさい いま かい どうじしゃ めい ちてき
開催は今までに3回されました。メンバーは、当事者が5名、しょうがでいうと、知的しょうがい

かた めい せいしん かた めい しんたい かた めい そうだんし えんせんもんいん めい
の方が2名、精神しょうがいの方2名、身体しょうがいの方1名、それから、相談支援専門員2名、

かた せんもんいん かた めい はい じむきょくいん
たまぶらねっとの方と、専門員の方に1名ずつ入っていただいています。あとは、うちが事務局員と

はい ししょくいん つ ど はい
して入って、市職員もその都度入っています。

ワーキンググループのメンバーでどんなことが困難かとか、嫌なことがあったかというのは少し

きょうゆう か くるまいすじょうしゃじ しゅうい しせん いき
共有したんですけれども、そこに書いてあるように、車椅子乗車時に、周囲の視線やため息による

しんりてきふたん くるまいす じかん しょうこう だ と
心理的負担。車椅子はどうしても時間がかかってしまうので、昇降を出したりとか、止めたりとか

じかん ほんにん わる おも じかん おも
時間がかかってしまうので、そういうことで本人も悪いなと思ったり、時間がないのになと思ってい

ひと おも しんりてきふたん
る人たちがいるんじゃないかと思って、心理的負担があるということです。

うんてんしゅ たいおう こじんさ いあつてき たいど しょうがいしゃてちょう こうしゅう めんぜん かくにん
それから、運転手の対応の個人差、威圧的な態度。あと、障害者手帳を公衆の面前で確認される

うんちん わりびき てちょう み なら
ことは、運賃を割引してもらうのに手帳を見せないといけない。それをみんなが並んでいるところで

み お まわ ひと しぶん てちょう み
見せて降りることが、周りの人に自分の手帳を見られてしまうんじゃないということとか、だ

いちばんさいご なら い かた
から、そのときに一番最後に並ぶんだということを言う方もいらっしゃったりします。

うんちん にじゅうはら じれい ちてきしょうがい ひと い い はら
運賃の二重払いの事例というのは、知的障害の人だと、言われたら言われたままに払ってしまうの

む おお い はら しはら
で、向こうが多く言ったときもやはりそのまま払ってしまうということで、支払っていないでしょう

い はら ひと
と言われたら、また払ってしまう人もあるんじゃないかということもありました。それから、ほかの

じょうきやく たいど き りよう ひか じれい
乗客の態度が気になって利用を控えるようになった事例もありました。

じれい じれい
このような事例があったということで、このような事例がもっとあるのではなかろうかということ

じれい あつ じっし おも
で、事例を集めるためにアンケートを実施しようと思います。

じっしほうほう かみばいだい しえんしゃ だいひつ しぶん か
実施方法としては、グーグルフォーム、それから紙媒体、支援者による代筆、自分で書けなかった

ないよう りかい むすか かた しえんしゃ て か こた
り、アンケートの内容が理解が難しかったりする方は、支援者の手を借りて答えてもらってもいいか

おも
なと思っています。

き わ ひょうげん つか せんたくしき じゆうきじゅつ
アンケートをつくるときに気をつけたときは、分かりやすい表現を使うこと、選択式と自由記述を

へいよう たいおう きさい おも わる
併用すること、それから、よかった対応も記載してもらおうと思います。悪いことばかりではなくて、

がんばん い う い
やっぱり頑張ってるねとか、いってらっしゃいとか言ってもらえたりすると、受け入れられているかな

き も たいおう かいしゃ も おも
という気持ちになるので、いい対応もバス会社に持っていこうと思います。

こんご ぜんたいかい あと じっし かいしゃ たちかわ けいおう
今後は、全大会の後にアンケートを実施して、バス会社は、立川バスと京王バスがあるので、くに
たちかわ おも
っことかは立川バスなので、その2つを思っています。

ぎちょう しりょう じっさい あん
【議長】 資料に実際のアンケート案というのがついているんですね。

じむきょく しりょう あん
【事務局】 資料として、アンケート案、ルビのついたものと、ルビのつかないもの、アンケートを
ねが あん
お願いする案をつけさせてもらっています。

ほんとう わ ことば つか けいしき ことば つか
本当に分かりやすい言葉を使うということで、あまり形式ばった言葉は使わないでいます。

ぎちょう ごしつもん ごかんそう ねが
【議長】 これについて御質問や御感想でもあったらお願いいたします。

こうせいいん いまよ こ わ おも い
【構成員】 このフォームを今読み込んでみましたけれども、分かりやすく思います。言いにくいこ
い
とを言いやすいアンケートになっていますので、つくってくださってありがとうございました。

ぎちょう じっさい の おいかわ
【議長】 実際、バスに乗られている及川さん、いかがでしょう。

こうせいいん わたし つうきん くになちしな い むさしさがい しよくば
【構成員】 私 も通勤のときは、国立市内ではないんですけれども、武蔵境から職場まではバスを
まいかいつか つうきん じっさい たぶん くるまいす かた り の
毎回使って通勤しているんですけれども、実際のところ、多分、車椅子の方が1人で乗るかというこ

せいど もんだい しごと り しごと
ととか、制度の問題とか、仕事だから1人でいるとか、仕事じゃなくてということであればヘルパー

いっしょ の く あ
さんも一緒に乗るんだとか、いろんなパターンがあっていろんな組み合わせがあってというのがバス

うんでんしゅ たぶんぶん かんが いた なに
の運転手さんとかは多分分かっていらっしゃらなくて、そこに考 えが至らずに何かちょっとこちら

おも うんでんしゅ おも ばあい なに
が思っていたことと、運転手さんが思っていることとのそごがあったりした場合に何かあったりとか、

かた かたち
そもそもそういう方もいらっしゃるのかもしれませんが、それはそれとして、いろんな形 でい

じじょう りょう けんじょう かた かな いっしょ
ろんな事情があって利用されているというのは、これは健常の方でも、しょうがいのある方でも一緒

だと思^{おも}うんですが、いろいろなパターンがあるんだ^わということは分か^わっていたいただけるようなパンフレットなり、チラシなりをつくって、バス会社^{かいしゃ}さんに分^わかっていたいただけるような、ものであればいいのかなと思^{おも}って、このアンケート^ふを踏^ふまえ、つくっていただければ^{ねが}とお願いしておきます。

【議長^{ぎちよう}】 三浦^{みうら}さん、いかがですか。

【構成員^{こうせいいん}】 すみません、私^{わたし}、読^よみ込^こみが深^{ふか}くなかったらごめんなさい。アンケート^{しゅうしゅうきかん}の収^{しゅう}集^{しゅう}期^き間^{かん}としていつからいつ頃^{ころ}までを想定^{そうてい}されていますでしょうか。

【事務局^{じむきょく}】 当初^{とうしょ}の予定^{よてい}だともう始^{はじ}めている予定^{よてい}だったんですけれども、この全体^{ぜんたい}が済^すんだ後^{のち}に出^でそうということにしましたので、この会^{かい}が終^おわって出^だす段^だ取^だりをしていきます。4月^{がつ}とか5月^{がつ}ぐらいまでで集^{あつ}めて、集^{しゅうけい}計^{けい}をして、それからバス会社^{かいしゃ}と話^は合^あいに持^もっていかなきゃいけないので、それが8月^{がつ}、9月^{がつ}には行^いきたい計^{けい}画^{かく}でもありますので、でも、もしかしたらもっと延^のびるかもしれないんですけれども、このワーキングの計^{けい}画^{かく}として、来^{らい}年^{ねん}度^どの半^{はん}年^{とし}というのがあります。そういうふうには思^{おも}っています。集^{しゅうけい}計^{けい}とかに時^じ間^{かん}がかかると思^{おも}いますので、長^{なが}引^びく予^よ定^{てい}であります。はっきりしたことじゃないです。

【議長^{ぎちよう}】 三浦^{みうら}さん、大^{だい}丈^{じょう}夫^ぶですか。

【構成員^{こうせいいん}】 大^{だい}丈^{じょう}夫^ぶです。

【議長^{ぎちよう}】 大^{おお}久^く保^ぼさん^のはバスの乗^{のり}るとき^のの事^じ例^{れい}とかをいっぱいお持^もちだと思^{おも}うんですけれども、このアンケート^なで何^{なに}か聞^ききたいこと^きを聞^きき取^とれるでしょうか、どうでしょうか。

【構成員^{こうせいいん}】 ちょっと気^きになったのは、アンケート^{はいふ}の配^{はい}布^ふの方法^{ほうほう}をどうい^いうふう^{ふう}にさ^されるのかなとい

うのが。いろいろな事業所さん^{じぎょうしょ}経由^{けいゆ}で当事者^{とうじしゃ}に行くのかというの^いもちょっと^き気になりました。

というのは、うちの息子^{むすこ}も手帳^{てちょう}を持っている^もんですけども、バスにも乗^のって半額^{はんがく}にもらって

いる^{げんじてん}んですけども、現時点^{げんじてん}ではどこ^{じぎょうしょ}の事業所さんとも所属^{しよぞく}という^{けいやく}か、契約^{けいやく}とかをしていないので、

そういう方^{かた}もいらっしゃる^{おも}のかなと思^{てん}ったんです。その点^きだけ気になりました。

【事務局】 ワーキンググループ^{じむきょく}のメンバー^てで手分け^わをしまして、いろん事業所^{じぎょうしょ}とか、ヘルパー^{ヘルパー}の

事業所^{じぎょうしょ}とかにも働^{はた}らきかけて行き渡^いるようにしたい^{わたし}なと思^{おも}っています。相談支援事業所^{そうだんしえんじぎょうしょ}には全事業所^{ぜんじぎょうしょ}

にわたる^{おも}ように思^{おも}いますし、あとヘルパー事業所^{じぎょうしょ}にも、私^{わたし}たちが働^{はた}きかけられるところ^{はた}には働^{はた}きかけ

て^{おも}と思^{おも}っています。

あと、本当に個人^{ほんとう}的^{こじんてき}にもいろい身体^{しんたい}のしょうかい^{しょうかい}の方^{かた}とか、知的^{ちてき}のしょうかい^{しょうかい}の方^{かた}、団体^{だんたい}がな

かな^{だんたい}つな^みがり^あがな^あかったり、団体^{だんたい}が見^み当^あたらな^あかったり^あします^あので、そこは個人^{こじんてき}的^{こじんてき}につな^とがり^とを取

って^{おも}いこうと思^{おも}っています。あと、手帳^{てちょう}を持^もって^もいな^もかったり^もという^{かた}方^{かた}にも、個人^{こじんてき}的^{こじんてき}なつて^{かた}を^{かた}たどっ

て^とでも、アンケート^{アンケート}は取^{おも}りたいと思^{おも}っています。

もしこの場^ばでどこどこに働^{はたら}きかけて、どう^{ぐたいてき}ですか^{ていあん}とか、具体^{おし}的な提^{おし}案^{おし}が^{おし}あれば^{おし}教^{おし}えて^{おし}いた^{おし}だけ^{おし}れば^{おし}

あ^{おも}りが^{おも}たいと思^{おも}います。

それ^きから、聞^きくのは当^{とうじしゃ}事^じ者^{しゃ}だけ^きではな^きくて、一^{いっしょ}緒^でに出^{しえん}かけ^{しえん}て支^{しえん}援^{しえん}して^{しえん}く^{しえん}れる^{しえん}ヘル^{しえん}パー^{しえん}さん^{しえん}とか、親^{おやご}御^ご

さん^{こた}にも答^{おも}えて^{おも}いた^{おも}だ^{おも}いて^{おも}と思^{おも}って^{おも}お^{おも}ります。

【議長】 そう^{ぎちよう}したら、大^{おお}久^く保^ほさん^ほの所^{しよぞく}属^{ぞく}する^{たいよう}太^{すばる}陽^{かい}と^{かい}昴^{ねが}の^{ねが}会^{かい}さん^{かい}には^{かい}ぜ^{かい}び^{かい}お願^{ねが}い^{ねが}しい^{ねが}たい^{ねが}と^{ねが}ころ^{ねが}です^{ねが}か

ね。

ほかに、どなたでもいいんですけども、そういう任意の団体^{にんい だんたい ごそん かた}を御存じの方はいらっしゃいますか。

何^{なん}のサービスも利用^{りよう}されていないけれども、一応どこかの会には所属^{いちおう かい しょぞく}されていてみたい^{かた}な方になるか
もしれませんが。

【事務局】 どの団体にも恐らく所属^{じむきょく だんたい おそ しょぞく}していない点^{てん}でいくと、小学生^{しょうがくせい}で移動支援^{いどうしえん}を探^{さが}しているけれど
もまだですとか、放課後^{ほうかご}デイサービス^いに行^いっていませんとか、そういう方^{かた}はいらっしゃるかなと思^{おも}い
ました。

【事務局】 今^{いま}、太陽^{たいよう}と昴^{すばる}の会^{かい}が出^でましたけれども、この間^{あいだ}手^てをつなぐ親^{おや}の会^{かい}で、親^{おや}の会^{かい}に入^{はい}って
いない人^{ひと}もどうぞという茶話会^{さわかい}をしたら、新^{あた}しいメンバー^きが来^こて、まだ子^ちどもが小^おさい親御^{おやご}さんとか
もいらして、まだサービス^{なに}は何^{つか}も使^{つか}っていないと。だから、例^{たと}えば手^てをつなぐ親^{おや}の会^{かい}のほうにも情 報^{じょうほう}
を渡^{わた}してもらえたら、何^{なん}らか少^{すこ}し、事業所^{じぎょうしょ}をまだ利用^{りよう}していない人^{ひと}にも、ネットワ-ク^{とお}を通してとい
うこと^よですけれども、呼^よびかけることができるん^{おも}じゃないかななんて思^{おも}いました。

【事務局】 お子^こさんをどうしようかというの^{なか}はワーキング^での中^{なか}でも出^いていまして、今^{いま}、願^{ねが}いする
アンケート^{とうげこう}が登^と下校^とのところでも取^とられるということもあ^{べつ}って、また別^{べつ}のものにもなるのかなと思^{おも}
いながら、お子^こさんというか、そういうところのアンケート^{こえ}はどうしようかなといった声^{こえ}はありまし
た。

【議長】 そうしたら、またワーキンググループ^{なか けんとう}の中^{なか}で検^{おも}討^{おも}していってと思^{おも}います。

【構成員】 全^{こうせいいん}く 畑^{まった}が違^{はたけ}うところ^{ちが}で話^{はなし}をさ^{はなし}せていただくと、1^{もくてき}の目的^{さいご}のところ^{もくひょう}で、最^{さい}後の「目 標^{もくひょう}
は、アンケート結果^{けっか}を踏^ふまえ、バス事 業 者^{じ ぎょうしゃ}と意^い見^{けん}交^{こう}換^{かん}につな^かげること」と書^かかれてい^かるかと思^{おも}うんで

すけれども、^{わたし}私は「よりよい^{ほうさく}方策^{とも}を共に^{かんが}考^{おも}え^{いけんこうかん}る」とかのほうがいいのかなと思いました。意見交換
につなげるというのはあくまで並行性^{へいこうせい}の^{はなし}話^{けんとう}であって、ここで検討^{たぶんつた}されたことを多分伝えるだけだと
あまりアンケートをやった意味^いがないかなと思^{おも}って、よりよいものをつくり出す^だということ^{かんが}を考^{かんが}
るという方向^{ほうこう}に、できれば持^もっていったほうがいいのかなと^{わたし}私^{おも}は思^{おも}ったので、そうすると、共に^{とも}考^{かんが}
え^{かん}るというほうがいいのかなという^{かん}感じが。

もしかしたら、そこまでがすごくハードル^{たか}が高いところ^{みんかん}があっ^{じぎょうしゃ}て、民間^{いけんこうかん}の事業者さんと意見交換を
するまでもやっぱり非常^{ひじょう}にハードル^{たか}が高いんですということであればそうなのかもしれないんですけ
れども、何かそこをもうちょっと、一緒に^な考^{いっしょ}え^{かんが}ましょうかというところでもいいかなと思^{おも}ったところ
があります。

2つ目^めが、共有事例^{きょうゆうじれい}というところに、「バス利用者^{りようしゃ}に^{かん}関^いし、以下^{こんなん}のような困難^{きょうゆう}が共有^{かんが}された」とい
うところがあるんですけれども、この状態^{じょうたい}で話^{はなし}を多分^{たぶん}バス事業^{じぎょうしゃ}者^{たん}としていくと、単^{いけん}に意見^{つた}を伝える
だけで、行政^{ぎょうせい}にいるとよく分^わかったんですけれども、対立^{たいりつこうず}構図^{かん}にしかないという感じがしていま
す。我々も行政^{われわれ}にいる立場^{ぎょうせい}として保護^{たちば}者^{ほごしゃ}からいろいろ団体^{だんたい}で言^いわれると、その瞬間^{しゅんかん}に共に^{とも}考^{かんが}え^{かんが}るじ
ゃなくて対立^{たいりつこうず}構図^{かん}になるというのがよく感じるところがあります。どうしたらそうならなくなるかな
と思^{おも}うと、こんなふうにしてもらいたいというところを、例^{たと}えば案^{あん}を幾^{いく}つか出^だしてもらえると、こん
なふうになったらいいのになとなると、こちらのことも考^{かんが}えてくれているんだねとちょっと思^{おも}った
りするところがあります。

ですので、アンケートを取りました、こんな意見^{いけん}がありました、どうですかとなると、その構図^{こうず}

だけ見ると多分対立にしかないかなと感じがしているので、最初に戻るんですけども共に考
えていきましょうという話であれば、多分そういう形で、単にアンケートを取ってこういう意見が
出てきましたというだけではなく、よりよくするには自分たち当事者が考えるんだったらこうい
ふうにしてもらったほうがいいかもしれませんねというのが2点目です。

もう1つが、実際にバスを運行されている方たちはどう思われているのかというのがないと、多分
片方の意見でしかないかなと。要するに、共に考えるという前提でいくのであれば、運行している
方々が困っていることって何なんでしょうか。そこで一緒にできることは何かないんですか。一緒に
できないことがあったとしても、別の方法でカバーできる方法があるんじゃないですかというところ
を代案が何か出せるのであれば、それはすごく前向きな検討にはなると思うんです。アンケートを出
すだけでいってしまうと、ちょっと受け取り側としては構えちゃうかなという感じがしたので、そこ
のところはもう一歩踏み込んでもいいのかなと私は思いました。

ですので、最初のところで、よりよい方策を共に考えるみたいなところのゴール設定のほうがいい
のかなと個人的には思いました。

【事務局】 ありがとうございます。貴重な御指摘だったと思います。意見交換だけではなくて、ア
ンケートでまとめた結果はもちろん持っていき、一緒に検討するということを考えています。これ
は、ワーキングのこの先になるかもしれないんですけども、そこもやはり私たちは考えていて、
言うだけではなかなか、聞いたよということで終わってしまうというのは思っています。貴重な意見
をありがとうございます。

ぎちよう かつどうほうこく もくひょう いけんこうかん しりよう
【議長】 活動報告のところに、目標は意見交換につなげることであるとあるんですけども、資料

ねが いちばんさいご もくてき ほうほう いっしょ けんとう
④のアンケートのお願いの一番最後のページの目的には、「その方法などを一緒に検討する」となって

かつどうほうこく おも
いて、これは活動報告のほうにミスったかなというところかなと思いました。

ぜんかい あら き こくどうつうしょう せつぐう で はなし
前回、荒木さんから、国土交通省から接遇ガイドラインというのが出ていますよねというお話が

おも わたし み こま べつ じょうきよう
あったと思うんですが、私も見てみたんですが、かなり細かくしょうがい別に、こういう状況があ

たいおう こま の かいいしゃ
ってこんなふうに対応するといいよということがかなり細かく載っているんですね。なので、バス会社

とど み
のほうにこれは届いているはずで、だけれども、ここのガイドラインには見えないような、ちょっと

こま ごと つた さき じれい つた
困り事というのを伝えていきながら、先ほどもよい事例も伝えるということがありましたけれども、

あわ いっしょ りよう む おも
そういうのも併せながら、一緒によりよいバスの利用に向けてやっていったらいいのかなと思いまし

た。

みな かんそう ごいけん なに ねが おも
皆さんから、感想でも、御意見でも何かあったらお願いしたいと思います。

こうせいいん わたし いま どういけん き
【構成員】 私のも今までの同意見になります。うれしかったことをぜひ聞いていただいて、それをぜ

けいはつ しりよう おも うんてんしゅ ねが たぶん
ひ啓発の資料にするといいかなと思いました。運転手さんのお願いもそうなんですけれども、多分、

じょうきやく ひと たいど き はなし じょうきやく ひと はいりょ
乗客の人の態度もさっき気になっているという話もあったので、ぜひ乗客の人もこういう配慮を

つく おも
してくれたらうれしいなみたいなポスターを作ってみるとか、そんなものにつながるいいかなと思

けっか たの
ったので、結果を楽しみにしております。

こうせいいん こじま りょうしゃ りかい あ だいじ
【構成員】 小島さんがおっしゃったように、両者が理解し合っていくというのはとても大事なだと

おも き おも
思いました。ちょっと気づかされました。すばらしいと思いました。

【構成員】 わたし こしま こいけん だいさんせい たと じょうきやく かた こころ はつげん
私も小島さんの御意見に大賛成です。例えば乗客の方が心ない発言をしたときに、

ば うんてんしゅ りよう ひとこと
その場で運転手さんが、いや、このバスはみんなが利用するんですよというふうな一言があるだけで

じょうきやく ひと すいぶんなっとく じれい たが かんが
乗客の人は随分納得していただけるだろうし、そんな事例というか、そういうことをお互いに考え

ほうこう ちんだい いっしょ ほうさく かんが ほうこう
ていくような方向でこの問題を一緒に、まさによりよい方策を考えていく方向がやはりいいんじゃないかな

おも
ないかなと思いました。

ぎちょう かた
【議長】 ほかの方はいかがでしょう。よろしいでしょうか。

ほうこく お なに い た
では、ワーキンググループの報告はこれで終わりにになりますが、何か言い足りなかったところはあ
りませんか。だいじょうぶ
大丈夫ですか。

こんご かつどう ほうこうせい じむきょく ねが
それでは、今後の活動の方向性について、事務局からお願いします。

じむきょく ぎだい ばん こんご かつどう ほうこうせい しえんか ひらまつ ごせつめい
【事務局】 議題の②番の今後の活動の方向性について、しょうがいしゃ支援課の平松から御説明さ
せていただきます。しりょう じりつしえんきょうぎかい こんご すす かた
資料⑤自立支援協議会の今後の進め方についてになります。

ちいきかだいきょうぎふかい き げんこう しないうだんしえん
1、地域課題協議部会ですけれども、①、②が決まっています、①現行のメンバーは市内相談支援

せんもんいん れいわ ねんどまつ かつどう かつどうないよう みちやくしゅ こうもく せいり
専門員にて、令和8年度末まで活動する。②が活動内容は未着手の項目について整理する。

げんざい ちいきかだいきょうぎふかい しないう せうだんしえんせんもんいん かた
①についてですが、現在、地域課題協議部会のメンバーは市内の相談支援専門員の方となっております

げんこう おな れいわ ねんどまつ かつどう かつどうないよう
ます。現行の同じメンバーのまま令和8年度末まで活動することとなっています。活動内容とし

みちやくしゅ こうもく げんざい ちいきかだいきょうぎふかい ちいき かだい
しては未着手の項目となっているんですけれども、現在、地域課題協議部会では地域の課題について

きょうぎ ちゅうしゅつ なか えら かだい げんざい かつどう
協議して抽出をしております。その中で3つ選んだ課題が、現在ワーキンググループとして、活動

えら かだい とうぜん
しているんですけれども、ワーキンググループとして選ばれていない課題も当然ありますので、その

えら とく たいおう こうもく こんごせり
選ばれていない特に対応していない項目について今後整理をしていく。

じっさい かつどう こめじるし れいわ ねん がつ
実際に活動のスケジュールなんですけれども、米印のところでは、①②について、令和8年5月と

がつ ぶかい かいさい よてい せりり せりり ないよう れいわ ねん ども
8月に部会を開催する予定で、そちらで整理をしていきます。整理した内容については、令和8年度

がつぜんたいかい はんとしご ぜんたいかいぎ ほうこく よてい
10月全体会、ちょうど半年後の全体会議で報告をする予定となっています。

いまげんざい じりつしえんきょうぎかい ぶかい ちいきかだいきょうぎぶかい どうぜん
今現在、自立支援協議会において部会というのはこの地域課題協議部会1つなんですけれども、当然

かだい こんご じょうせつぶかい かつどう よてい どうぜん おな
課題というのは今後もありますので、常設部会として活動をしていく予定ですが、当然ずっと同じメ

ンバーというわけにもいかないもので、メンバーの変更であったりとか、追加あるいは協議する課題に

じょうぎよう み こんご き
ついてはその状況を、今後決めていくとなっております。

つぎ しんせつぶかいせっち けんとう じむきょくかいぎ はな あ けっか ちいき
次に、2の新設部会設置の検討というところですが、こちらは事務局会議で話し合った結果、地域

かだいきょうぎぶかい くにたちし かだい きょうぎ かだい なに はな あ
課題協議部会というのは国立市における課題について協議をして、課題は何かというのを話し合う

ぶかい で かだい たい たいおう ぶかい で
部会ではあるんですけれども、その出てきた課題に対して対応する部会ではないので、その出てきた

かだい あら ぶかい ほっそく たいおう ひつよう はなし
課題について新たな部会を発足して、それに対応していく必要があるのではないかというお話にな

りました。

じっさいぶかい こうほ した しゅうろうぶかい さべつかいしょうぶかい こ ぶかい ぶかい
実際部会の候補としては、下にあるように就労部会、差別解消部会、子ども部会、にも部会など

あ げんじょう じりつしえんきょうぎかい いく ぶかい かいせつ じっさい すす
が挙げられています。ただ、現状、自立支援協議会として幾つ部会を開設できるのか、実際に進めて

いけるかどうかというところについて、また今後進め方などを検討していく予定でございます。

ぎちよう ぶかい わ かた おも せつめい ねが
【議長】 にも部会は、ちょっと分からない方もいらっしゃると思うんですけれども、説明をお願い

いたします。

【事務局】 精神しょうがいしゃにも対応した地域包括ケアシステムという正式名称であります

か、というのがありまして、精神しょうがいのある方の長期入院患者だったり、長期施設入所者の

方々を地域のほうに移行させていくのかということについて検討するような連絡会というのが、

国立市の中で今、設置要綱を基に会議体としてございまして、にもの連絡会と我々はよく言うんです

けれども、国立市としてまだ部会として、にもの活動を部会化という形にはできていないので、他市

の自立支援協議会の活動を見ますと、自立支援協議会の中で、精神しょうがいのある方の地域移行に

ついて、常設部会として活動しているところが非常に多いということがありまして、国立市として

も、このにもの連絡会を自立支援協議会にひもづけられないだろうかと考えておりまして、ここに

も部会という形で書かせていただいております。

会議体はもう今既に存在しておりますので、それをどう自立支援協議会に絡めていくかと、自立

支援協議会の看板を分けるようなイメージになるかなと思うんですけれども、やっていることは変わ

らずに引き続きやっていくというイメージを持っているんですけれども、にも部会も含めての部会を

候補とさせていただきます。

【議長】 続いて、ほかの部会も、なぜこの部会が挙がっているのかを簡単に説明していただけると

わかりやすいかもしれません。

【事務局】 もともと4つの部会があって、地域課題協議部会になる前に4つあったんです。その中

に、当事者部会、仕事部会、地域交流部会、安心部会と4つありまして、その仕事部会というところ

で、今回、地域課題共有部会の中でも、就労面についての課題というところがフューチャーされな

からも、^{じっさい}実際^かワーキンググループ化^{しゅうろうぶかい}していないところもありましたので、^{しごとぶかい}就労部会^{しゅうろうぶかい}として、仕事部会

^{かつどう}の活動^{いちどふかつ}をもう一度復活させるじゃないんですけれども、そういったところがイメージしやすかったも

ので、ここに^{しゅうろうぶかい}就労部会^かと書かせていただきました。

^{さべつかいしょうぶかい}差別解消部会^{けんりようご かんてん}というのは権利擁護^{とうじしゃぶかい}の観点からというところで、これも当事者部会^{とうじしゃぶかい}というものがもと

もと4つの部会の中にあっただんですね。^{かだい かいけつ}課題が解決^{ぶかい お}したから部会が終わったというわけではないので、

もう一度その当事者部会^{いちど とうじしゃぶかい}というものを、^{なまえ}名前をどうするか^{かんが ひつよう おも}というのはまた考^{かんが}える必要^{ひつよう}はあると思

うんです。^{さべつかいしょうぶかい}差別解消部会^{てきせつ}というのが適切^{かんが}なのかどうか^{ようそ}というのは考^{かんが}えていく要素^{ようそ}ではありますけれ

ども、^{とうじしゃぶかい かつどう}当事者部会^{いちど ふかつ}で活動^{とうじしゃ かなか}していたようなことをもう一度また復活^{こま こと}させて、当事者^{こま こと}が抱えている困り事^{こま こと}

はそこで解決^{かいけつ}していこうという部会^{ぶかい}が常設^{じょうせつ}であってもいいんじゃないかという話^{はなし}が^で出まして、ここ

に^か書かせていただいたところになります。

あと、^{こ ぶかい}子ども部会^{たし なら}というのは他市^{こ ぶかい}に倣^{しゃ じ}って、子ども部会^{しゃ じ}というものがあって、者と児^{しゃ じ}というところ

で、^{こんかい}今回^{なか}3つのワーキンググループ^{しのはら}の中で、さっき篠原^{はなし}さんのお話^{ばん}もありましたけれども、1番^{ばん}のワ

ーキンググループ^{とうげこう じっだいちょうさ}が登下校^この実態調査^{かだい ちゅうしゅう}というところで、お子^こさんの課題^{かだい}を抽出^{ちゅうしゅう}するというところで

は1つ要素^{ようそ}はあるかなとは思^{おも}うんですけれども、^{ひろ み}ただ、もっと広く見たときに、しょうがいのあるお

子様^{こ さま}を抱^{かか}えていらっしやる課題^{かだい}だったり^{せつめいかい}を説明会^{はなし}で話^{ぶかい}せるような部会^{ぶかい}があるとよりいいかなという

話^{はなし}が事務局^{じむきょく}の中で出^でまして、子ども部会^{ぶかい}と書^かかせていただいたところでございます。

【議長^{ぎちよう}】 それでは、^{いま}今の説明^{せつめい}で、^{おお}ちょっとこれは大きいテーマ^{じりつしえんきょうぎかい}なんですけれども、自立支援協議会^{じりつしえんきょうぎかい}

としてやっていくべきこととして、^{ぶかい}こんな部会^{なに}があったらいいんじゃないかなとか、何か御意見^{ごいけん}があ

ねが
りましたらお願いしたいです。

こうせいいん わたし しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつしえん しゅうろう かんけい しごと しゅうろう
【構成員】 私、障害者就業・生活支援センターという就労の関係の仕事をしているので、就労

ぶかい
部会というのはありがたいとまず言いたいところです。まず、皆さん御存じかもしれませんが、逆に

くにたちし ばあい ちいさなだいしきょうぎぶかい い み わる い み とくちょう
国立市の場合、地域課題協議部会しかないというのがいい意味でも、悪い意味でも特徴だったような

き た し ぶかい ぶかい わり ふつう なか
気がするんですね。他市は4部会ぐらい、いろんな部会があるのが割と普通というか、その中でこう

ぶかい ふ おも なか しゅうろうぶかい た あ おも
やって部会を増やしていただくほうがいいかなと思う中で、就労部会はずいぶん立ち上げてほしいと思

っています。

こそん おも しゅうろう はたら
というのも、これも御存じかと思いますが、やっぱり就労そのものというか、働くということで

はたら ひと そうだん こういき
すね。働くことをキーワードに、いろんな人が相談に、うちのセンターなんかは、うちの広域のセン

くにたちし し そうだん たと ことし
ターなので国立市だけではないんですが、いろんな市から相談がきます。例えば今年でいうともう

けん そうだん き こんご こようりつ らいねん くわ せつめい
180件ぐらい相談が来たりしています。今後、またしょうがいしゃ雇用率も来年、詳しく説明しない

がつ あ かた はたら
ですが、また7月に上がったというところで、しょうがいのある方でも働くということをキーワード

そと で ぼく おも
に、外に出ていったりとかそういうきっかけになると、僕なんかはいいなと思っています。

しゅうぎょう はたら さまざま おも びーかた はたら はたら かた
就業は、やっぱり働くということは様々だと思います。B型で働くことも1つの働き方だし、

はたら はたら かた おも い み とうじしゃ せんたくし
その他、様々な小さなところで働くことも働き方だと思うという意味では、当事者にとって選択肢

はたら そと で さき
がいろいろあって、働くことをキーワードに外に出ていく、あるいは、まちづくりとして、先ほどか

で けつきよく しみん かた かた りかい かんが
ら出ているのは、結局、市民の方にしょうがいのある方の理解をしていただくということで考えて

しゃかいさんか とうじしゃ かた りかい すす い み べつ
も、やっぱり社会参加ということで、しょうがいのある当事者の方の理解が進むという意味では、別

はたら もくてき しみん かた りかい すす い み しゅうろうぶかい
に働くことだけを目的にするのではなくて、市民の方への理解が進むという意味でも、就労部会は

ひつよう おも ほうこう しゅうろうぶかい かんが おも
必要なんじゃないかなと思っていますし、その方向で就労部会を考えるといいかなと思っています。

はなし なが さいご いぜん しゅうろうぶかい しごと
話が長くなってしまったんですが、最後にもう1つだけ。あと、以前あった就労部会というか仕事

ぶかい ほぼそ しごとぶかいてき のこ わり い み のこ
部会があったんですが、細々と仕事会的なものも残っていて、それも割といい意味で残っているの

で、それも、さき はなしあ い のこ しゅうろう
で、それも、先ほど、にもの話合いをそのままと言ったんですけれども、その残っているものを就労

ぶかい ごうりてき ごうりてき かんが なが
部会にくっつけると合理的というか、効率的かなというのも1つ考えたところです。長くなりました

いじょう
が以上です。

ぎちょう しゅうろうぶかい
【議長】 ぜひ就労部会をというところでよろしいでしょうか。

こ ぶかい やまもと
子ども部会があったらこんなことをなんて、山本さん、いかがでしょうか。

こうせいいん いま りよう こ みしゅうがく ほごしゃ
【構成員】 今センターを利用されているお子さんと、ほとんど未就学なので保護者がいろいろと

うご おも ほごしゃ こま ごと
動かれるんだらうなと思うんですけれども、やっぱり保護者の困り事というのかなりあるので、

いけん す あ ぶかい おも
そういった意見も吸い上げてくれる部会だといいなと思います。

ぎちょう ふじた なに ぶかい ひつよう
【議長】 藤田さん、いかがでしょう。何かほかにこういう部会も必要なんじゃないかなとかはあり

ますでしょうか。

こうせいいん わたし だい じ じりつしえんきょうぎかい やくわり にな きょうぎ ば え
【構成員】 私、第3次の自立支援協議会が役割として担う、あるいは協議の場としてあり得るなど

いく おも わたし こうせいいん あいだ ぜんたい みわた
いうのは幾つかあると思うんですけれども、私は構成員になって間もないので、まだ全体を見渡し

ていないんですが、きょう ぎろん と き たい とりくみ みな いっしょうけんめい
今日の議論も取りあえずの決めたことに対しての取組は、皆さん一生懸命やって

いらっしゃると思うんですが、ぎょうせいがわ ちゅうちようき なんねんご なに
行政側と中長期の何年後までに何をやろうかというようなことは、

たと 基 幹 相 談 セ ン タ ー を 以 前 国 立 市 は や る の か と か、 あ る い は 地 域 生 活 拠 点 を ど う い う ふう

に 国 立 市 は 整 理 し て い く の か と か と い う よ う な こ と、 こ れ は 国 の 限 り あ る の 施 策 な の で、 決 し て 悠 長

に は 構 え て い ら れ な い。 26 市 の 中 で 機 関 が な い の は、 も う 6 つ と か 7 つ と か、 残 り 少 な い わ け で す よ
ね。

や は り そ う い う 意 味 で、 地 域 移 行 の 問 題 に し た ら、 部 会 候 補 に あ る も の を 中 心 に し な が ら、 に も

部 会 も 中 心 に し な が ら や っ て い く と か、 そ う い う 期 間 を 決 め て 何 か を や っ て い く と い う よ う な こ と

が あ る と、 こ こ に 出 席 さ れ て い る 方 も よ り 鮮 明 に、 今 年 は こ こ ま で や ろ う か と か、 そ う い う こ と が 見

や す い ん じ ゃ な い か、 予 測 し や す い ん じ ゃ な い か と 思 う と こ ろ で す。 ち ょ っ と 一 般 的 な 言 い 方 で 申 し

わけ
訳 不 明 だ す。

【議 長】 本 当 に 大 事 な 御 意 見 で し た。 中 長 期 的 な 観 点 か ら し て 必 要 な 部 会 は 何 か と い う こ と も 検 討

し て い く 必 要 が 本 当 に あ る と 思 い ま す。 何 か 市 の 方 か ら あ り ま す か。

【事 務 局】 本 当 に あ り が た い 御 意 見 だ っ た か な と い う と こ ろ で ご ざ い ま す。 周 知 の と お り、 地 域 生 活

支 援 拠 点 だ っ た り、 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー は、 国 立 市 に お い て は 未 設 置 な 状 況 で ご ざ い ま す し、 し

よ う が い し ゃ 計 画 の 中 で も 指 標 と し て 成 果 指 標 と し て 入 れ て い る と こ ろ で ご ざ い ま す の で、 そ う い っ

た と こ ろ も 視 野 に 入 れ な が ら、 自 立 支 援 協 議 会 と ど う 絡 め ら れ る か と い う と こ ろ も 含 め て、 今 後 進 め

て い き た い な と 思 い ま す。

【議 長】 鈴 木 さ ん あ た り か ら い か が で し ょ う か。 何 か ほ か の 必 要 な 部 会 で す と か。

【構 成 員】 今 の 立 派 な 意 見 を 踏 ま え て、 ち ょ っ と 小 さ な こ と に な る ん で す け れ ど も、 私 た ち は や っ

ぱり医療的ケア児とか重症者心身ケア児の入り口の支援をすることが多くて、その中でやっぱりお

母さんたちの孤立をすごく感じることもあるんですね。発達相談とか相談支援のこともすごく大事だ

と思うんですけども、ちょっと医療的ケア児が最近やっぱりクローズアップというか、法律もでき

たので、そのあたりも子ども部会とかに入るといいなと思いながら聞いておりました。

あとは、ほかの自治体の自立支援協議会に出ていて、主にこの4つぐらいの部会が多いかなという

印象で、差別解消のところは権利擁護だったり、就労は結構どこの自治体もあるかなという印象

ですし、包括も出させていただくこともあるので、大まかな分類としてはこの4つかなと思って聞いて

ていました。

【議長】 市内いろんな委員会とか審議会とかありますけれども、この自立支援協議会は、本当にほ

かの自治体からも、自治体同士でも注目し合うような会になりますので、編成も含めて本当にいろい

ろ検討を重ねていければいいかなと思います。

大久保さん、いかがですか。

【構成員】 私も親の会の所属というか、親の会の代表で来ていまして、実際、自立支援協議会は、

本当にこの全体会のメンバーになって初めてそういうことをやっているんだというのが分かった段階

なので、具体的にどういうことをやっていけばいいのかというアイデアとかはないんですけども、

先ほどおっしゃっていたみたいには、国とか東京都とかでこういう方向に法整備を進めていったりと

か、支援をしていく中でこうしようという道筋が示されているものについてはやっぱり取り組んでい

く方向に持ってかなきゃいけないのかなとは思いました。

ただ、あとちょっと心配なのは、部会を幾つつくったとしても、結局それを支えるメンバーというのが、限りがある人員になってしまうんじゃないかなというところで、その兼ね合いが難しいかなと感じております。

【議長】 今の最後のところ、まさに課題になっているところではあります。国立市は小さいので、事業所も数も少なく、やるメンバーがいつも同じような感じになってしまうところがありまして、皆さんもその辺も兼ね合いも考えながら進めていくことになるかと思います。

ほかに何か御意見はありますか。大丈夫ですか。

それでは、これで終了とさせていただきます。では、皆さんお疲れさまでした。

【事務局】 ありがとうございました。では、これで第2回の自立支援協議会全体会を終了いたします。

また、10月にワーキンググループの活動報告、集大成のところをまた見せられればいいかなと思っておりますので、また次回よろしくお願いいたします。

それでは今日はどうもありがとうございました。